

補助金評価シート

区分	重点・ 重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市交通対策協議会補助金 新潟市交通対策協議会は、市内における交通安全に関する活動を効果的に推進し、関係行政機関及び団体等が相互に緊密な連絡調整を図ることを目的に行うため、その事業費の一部を補助する。							
款・項・目	総務費・総務管理費・交通安全対策費							
所属等	市民生活部 市民生活課 安心・安全推進室 電話025-226-1113							

年 度		令和5年度（1年目）		令和6年度（2年目）		令和7年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)	2,100	他 384	2,100	0	2,100	0
	決算(千円)	2,100	他 449	2,100	0	2,100	0
補助率		65.1		69.0		71.2	
目 標		交通事故件数を毎年50件以上減少させる。 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上					100.0%	△ 99
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満	10.0%	△ 5	0.0%	0		
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		総会資料・パンフレット等					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 団体事業の目的が極めて公的なものであり、構成団体も公的機関が大半を占めるため、自己財源確保は非常に困難でありやむを得ない。 <g～hにおける取組>			
目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> コロナウイルス渦においては件数が前年度比150件を超えて大幅に減少していたが、令和5年の5類感染症への変更以降は人々の移動が活発になり、件数が増加することはなかったものの、減少幅を大きくすることはできなかった。				
① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 交通安全対策を効果的に推進するためには、関係各機関、団体が相互に連携し、総合的な活動を行う必要があり、50団体以上で構成される交通対策協議会は、各季交通安全運動をはじめとした全市的な活動を実施する上で非常に大きな役割を果たしているため支援を継続していく必要がある。					